

第6回 豊川市本庁舎等整備基本構想・基本計画策定委員会 議事録

- 1 開催日時 令和6年8月2日（金）午後3時00分～午後4時30分
- 2 開催場所 豊川市防災センター 1階 市民研修室
- 3 出席者（敬称略）

【委員】11名 宇野 勇治（委員長）、益尾 孝祐（副委員長）、竹本 秀邦、
田中 みや子、中田 紘八、橋本 記久子、長谷川 完一郎、
伴野 雅章、渡邊 万美子、相原 俊彦、尾崎 幸弘

【事務局】12名 桑野副市長、田中副市長
財務部 手塚財産管理監、佐野次長
財産管理課 小野課長、伊藤主幹、辻課長補佐、村田係長、竹下、宮城
ランドブレイン(株) 伊藤、財満

4 議題

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議事

(1) 基本計画（案）について

・豊川市本庁舎等整備基本計画（案）について

- (4) その他
- (5) 閉会

5 議事内容

■(1) 開会

事務局より、開会の挨拶。

■(2) 挨拶

桑野副市長より挨拶。

■(3) 議事

(1) 基本計画(案)について

・豊川市本庁舎等整備基本計画(案)について

事務局より、資料1「豊川市本庁舎等整備基本計画(案)」及び資料2「豊川市本庁舎等整備基本計画(案)【概要版】」について説明。

(質疑応答)

【委員長】	本編16・17ページ、規模の算定のところで、「新庁舎」という言葉と、「新本庁舎」という言葉があって、既存の北庁舎などを含めた建物のことを「新庁舎」という呼び方をしていると思いますが、説明を聞いていると、新庁舎と言ったり、新本庁舎と言ったり、どれのことを指しているのか、わかり難く感じました。新本庁舎に必要な延床面積においては、防災センターも入ってくるので、少し違う言葉に置き換えるなど、丁寧に説明すると良いと思います。
【事務局】	該当する単語が最初に登場するあたりで、「新庁舎」とは何を指すのか、説明書きを加えるようなことも検討いたします。
【委員】	概要版5ページ、概算事業費のところで、工事費が131.9億円と記載されていますが、表下のコメントには、調査・設計費、什器備品費、IT関連費、引越関連費などは含んでいませんと書いてあります。総事業費を削減するために、什器備品は全て新しい備品の購入を想定しているのか、それとも現状の使える備品をそのまま使っていく考えているのか、市の考え方をお聞きます。 また、現在の本庁舎は、昭和44年の建設ということですが、アスベスト調査は実施済みか、状況を確認させていただきます。
【事務局】	什器備品につきましては、基本的にはなるべく面積を取らずに、整然と職員が並ぶような配置や什器備品の統一を図りたいと考えています。現在は、合併以前の規格の異なる什器備品が混在することなどから、本来の必要とされるスペース以上の面積が取られているのではないかとオフィス環境現況調査の結果で示されています。これらの改善も含めて、新庁舎では新しい什器備品で対応したいと考えています。 また、アスベストについてのご心配ですが、豊川市の最近の事例の中でもアスベストが含まれている施設が何件かございましたので、当然本庁舎等整備においても設計に合わせて調査を行う予定です。その後、必要な対策などがあれば、工事費の中で対策費を計上するなど、ルールに則り、しっかり行っていきたく思っております。
【委員長】	概要版5ページ、「新庁舎の階構成イメージ」の図で、一番上に市議会ゾーンの記事があり、市議会は5階と決まっているように見えてしまいます。一方で、窓口ゾーンに関しては記載がないので、市議会ゾーンだけ記載があるのは、少し違和感を覚えます。前回の委員会の中で意見がありましたように、市議会の位置

	付けやあり方などは、できれば色々な議論があって、ニュートラルな感じで進められると良いのかなと思いますので、ご検討いただけたらと思います。
【事務局】	承知いたしました。ご意見を踏まえ、検討いたします。
【委員】	今日の説明では部長室は設けないということでしたが、現在の市議会、議長と副議長はおそらく個室だと記憶していますが、議長・副議長の部屋は、今後どのように取り扱うのか、教えてください。
【事務局】	その辺りは設計段階で検討していきたいと考えておりますが、他市事例では議長・副議長さんの部屋は、独立して設けられているケースが多かったことから、今のところは現行どおりと認識しているところです。
【委員】	本編36ページ、「新本庁舎周辺施設との連携・有効活用について」のところで、豊川公園等との一体的、連続的利用が期待できる環境を活かすという部分は、どのような使い方を想定されていますか。
【事務局】	せっかく北側に豊川公園が新しく、綺麗にできたので、本庁舎敷地との一体性や行き来がしやすいつくりを考えてほしいと過去の委員会でご意見をいただきました。また、西側には図書館があるので、図書館との行き来も考慮した動線計画などが考えられると良いといったご意見もあわせていただいておりますので、このような趣旨を踏まえて文章化したものです。具体的な内容につきましては、引き続き、設計段階で検討してまいります。
【委員】	概要版1ページ、キャッチコピーの中で、「歴史をつむぎ」という言葉が出てきます。その下に基本理念や方針などが示されていますが、その基本理念・方針と歴史をつむぎというところの関連性というのが、どこでどう表現されるのか、教えてください。
【事務局】	1つ事例でわかりやすく言うと、本庁舎敷地の中には、マツという樹木があります。これは、ずっと豊川の、この敷地の中で守られてきたものであり、特に防災センターの南側のマツ林は、過去から受け継いできた歴史もあると思います。敷地計画上で、そのようなところを可能な限り保全していく、残していくというようなことなどについて、歴史をつむぎという言葉で表現し、イメージしているところでございます。
【委員】	私たちが考えてきたことが上手く入ってきて、良くまとまってきたなと思いますし、この基本計画をもとに、これから先どう設計されていくのか、すごく楽しみにしています。最近、少しずつこの事業について、こんなことやっているんだといった意見を色々なところで聞くようになりました。「そうだよ。つくっているよ。考えているよ。」ということを自分が言えることが、すごく良かったなと思って、皆さんにも楽しみにしてねと声をかけています。
【委員長】	委員の意見に関連して、今後の広報的なことも含め、市民との関係性づくりなど、何か考えていることがあれば教えてください。
【事務局】	引き続き市民の皆さんにこういった事業が進んでいるということを知っていただく意味でも、この基本計画が策定された後、9月の後半から10月初旬にかけて、市内の5か所で住民説明会を実施したいと考えております。
【委員】	想定職員数が約1000人ということですが、福利厚生の場所や食堂など、そういうものはどのようになっていくかも気になりますので、ぜひ考慮していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
【事務局】	過去に実施した職員アンケートの回答でも、現在の本庁舎で不足しているものとして、「福利厚生」という意見は多く寄せられています。面積がそれらの影響で過大になるということは当然控えていかなければならないのですが、バランスを取りながら、最低限必要で、市民の皆さんにも納得していただけるような範囲内で、そのようなスペースを設けられるよう、設計の中でしっかり検討してまいります。
【委員】	マツ林の話で、私自身は植物の会社で樹木医ではないのですが、樹木医のような資格を持っており、空間デザインに関わる仕事に携わっています。現状、歴史をつむぐということで、植えられているマツは、その歴史という面では残さない

	といけないという声が出ていると思うのですが、以前と環境が変わってきている中で、このマツを仮に5年後、10年後に切らなければならない状況もおそらく有り得ると思います。単純に保存したとしても、そういったことも念頭に置いて慎重に考えていただければと思います。倒木については他都市をみても、50年、80年といった区切りで木の植え替えがどんどん進んでいます。豊川市全域の桜もだいぶ老木になっており、植え替えや接ぎ木がされている現状もあります。歴史をつむぐことも大切ですが、慎重に考えてほしいです。すでに私たちの世代では、「マツ」自体にそこまで親しみを感じなくなっていると思いますので、植え替えるなら桜など、時代に合わせて少しずつ他の樹木に変えていっても良いのではないかなとも思いますし、むしろ、そのスペースがあるくらいなら、もっと何か市民が親しみを持てるようなものを入れていただきたいです。歴史も大切ですが、新しい世代にどう伝えて、どう変えていくかということも大切なことかと思えます。 また、先ほど話が出ました「福利厚生」のことで、市役所職員のスペースとして、食堂などのオープンスペースがあることは大前提だとして、プラスアルファで市民の私たちも使いやすい、過ごしやすい食堂などがあっても良いのかなと思います。最近、大学でもオープンキャンパスという言葉も出てきており、学生以外の方もそこで楽しく過ごせたりするので、市民窓口だけではなく、プラスアルファの機能があれば、より多くの皆さんが来ていただける、興味を持っていただける場所になるのかなと思います。
【 事 務 局 】	マツにつきましては、まず、どのマツが残せるのかという確認が必要であると考えており、今年度の後半で樹木医に診断してもらえる予算を確保するため、調整しているところです。その上で、残せるものと残せないものを選定し、駐車場などゾーニングの中でプラスアルファとして設けられる機能が他にあるか、設計段階でしっかり検討してまいります。 また、市民が交流できるスペースという機能のイメージですが、今回のモデル案の2棟目をつくる低層棟の部分で検討しており、食事をとったり、クーリングシェルターといって暑い時期に市民の方が涼みに来ていただきたり、交流もできるような機能などを設計の中でしっかりと検討してまいります。
【 委 員 】	重箱の隅をつつくようで申し訳ございません。本編21ページ、「新庁舎の整備条件」のところで、基本条件（基本構想）の4行目は、本庁舎の整備に「あわせて」とひらがなです。中段あたり、新庁舎整備の進め方のところでは「合わせて」と漢字が使われています。どちらかに統一したほうが良いかと思います。そのほか、並行してという意味合いだと、「併」の字が使われている箇所もありましたので、これらを含めて表現を統一していただきたいです。
【 事 務 局 】	ありがとうございます。修正いたします。
【 副 委 員 長 】	この先のスケジュールについて教えてください。この基本計画（案）は委員の皆様との意見交換を踏まえ、ほぼ合意に達するということだと思いますが、検討段階で議論した内容、設計者選定や設計者を選定した際の公開方法、ワークショップのあり方や市民の参画方法など、その辺りはぜひプロポーザルの条件の中で見せていただきたいと思います。また、今後どのような形で市民の皆様の意見をさらに拾えるような仕掛けを想定されているか、その辺りを教えてください。
【 事 務 局 】	今後のスケジュールにつきましては、8月に基本計画の策定を終えた後、9月の議会で、基本・実施設計の予算を可決いただければ、設計業者の選定に入っていく予定です。具体的には10月の終わりから11月頃から公募をかけ、年明け2月頃までには設計業者の選定を終え、大命題である合併推進債が活用できるよう、今年度中に設計業務の着手ができることを守れるように事業を進めてまいります。また、市民の皆さんの意見をこれからどのような形で頂くことが最適なのかにつきましては、ワークショップがいいのか、どのような形がいいのか、現在、検討を進めているところでございますので、適宜、市のホームページなどで公表、周知させていただきます。
【 委 員 】	キャッチコピーの中で「みんなで創る」という言葉が入っていますので、引き

	続き市民の方からの意見を聞きながら、豊川らしさにもつないでいていただけたらと思います。 それから最近ジェンダーレスという言葉が流行っています。性別を意識しない、したくない方がいらっしゃる中で、すでに民間ではトイレの入口が3つあって、男女の表示もなく、誰でもどこからでも入れて、まるでホテルの個室みたいな扉になっていたり、誰もが使えるつくりのトイレが実は登場しています。この先、そのような意見や要望も出てくるかと思いますので、間に合えば、ジェンダーレスにかかわらず新しい社会の動きにも対応できるよう、設計に取り入れていただきたいと思います。
【 事 務 局 】	キャッチコピーの「みんなで創る」というのは職員も含め、市民の方とみんなで庁舎を創っていくということで「みんなで創る」としていますので、しっかり意識して進めてまいります。 また、ジェンダーレスというところでは、基本理念1・方針2で定めた、誰もが利用しやすい開かれた庁舎というこの方針がまさに該当する部分です。トイレなどが一番代表的な部分になってくるかと思いますが、新しい社会の動き、これからの時代の要請に対して適切に対応できるよう、設計の中でしっかりと検討してまいります。
【 委 員 】	今回の基本計画（案）、大変素晴らしくできたと思っています。これから市民の皆様公表するというところで、予算の部分、合併推進債を活用することをわかりやすく説明しなければならぬと思いますし、概算事業費の説明では、本庁舎や分庁舎、北庁舎を新築や改修していくところで、市民の皆様からは平米単価がなぜ違うのかといった、シンプルな質問が出てくると思いますので、対応できるようにしっかりと説明していただけたら嬉しく思います。 それと方針の中でも「スムーズ」と当初から言われていますが、「書かない、待たせない、来させない」といったところもわかりやすい新庁舎になってほしいので、どうぞよろしくお願いいたします。
【 事 務 局 】	住民説明会では、そのようなことがわかりやすく伝えられる表現で説明をさせていただきますと思います。 また、方針にその辺りの要素を入れてしっかりと定めていただきましたので、設計者にしっかりと伝えながら、皆さんが使いやすく利用しやすい市役所を目指し、整備してまいります。

■(4) その他

今後の予定を共有。

■(5) 閉会

田中副市長より、閉会の挨拶。

以上